

令和4年度  
大野市文化財保存活用地域計画推進協議会  
会 議 録

日 時 令和4年11月18日(金) 10:00～11:45  
場 所 大野市役所 2階 大会議室

大野市教育委員会事務局 生涯学習・文化財保護課

出席者 ○委員 14名 欠席者なし  
○教育委員会 教育長  
○事務局 3名

## 1 委嘱状交付

## 2 教育長あいさつ

私の地元は小山地区の阿難祖領家、隣は地頭方で、双方で神社を持っている。小さな祠が地境にある。説明書きがある。小山地区をよくする会と小山荘歴史の会が看板を作成。祭神は牛頭天王で、疫病から村びとを守るために祭祀された。

領家と地頭方は毎年交代（隔年）で祠の世話をする。下地中分以前から祀られていたことが分かる。

歴史の中に住んでいることを、この年齢になって、やっと実感できてきた。親から聞いていたが、次に伝えられるのか不安になる。

少子高齢化で文化や歴史、伝統をいかに伝えていくかが課題になっている。

地域計画は7月に文化庁長官の認定を受けた。計画に息を吹き込んで次代に伝えていきたい。しっかり市の施策を前に進めていきたいので、よろしく願います。

## 自己紹介

## 3 会長、副会長の選任

### 会長あいさつ

計画書を理解しようとするのが難しい。また、文化財と聞くとハードルが高いように思うかもしれない。

文化財とは、人間が作り伝えてきた知恵を総体するものと考えている。有形も無形もある。

地域計画は、大野市が作ったから大野市の言う通り行うのではない。市民が文化財の魅力を知って、保存・活用を図っていくもの。それを手伝うのが、当会の目的としたい。

#### 4 議 事

- (1) 大野市文化財保存活用地域計画について  
計画の内容について説明（事務局）

【質疑】 特になし

- (2) 協議会の役割について（資料1）

①協議会は年1回開催する。

協議内容は、(1)進捗確認、(2)今後の措置の進め方、(3)必要があれば計画変更 などについて協議する。

②文化財の保存と活用に関することの相談等があれば、大野市教育委員会事務局 生涯学習・文化財保護課が窓口になり連絡調整する。

（大野市文化財保存活用地域計画推進協議会設置要綱第2条参照）

【質疑】 特になし

- (3) 事業（措置）の令和4年度上半期の進捗について（資料2, 3）

※措置とは、計画を進めるための事業

①計画書について説明（事務局）

P69、70 調査研究・保存・活用の課題と方針と措置の一覧

P129、130 関連文化財群の措置の一覧 について説明（事務局）

②資料2, 3について説明（事務局）

【質疑】

委員 開催は年1回ということだが、毎年、協議会で9月末の評価を協議するのか。

事務局 次回以降は、5～6月開催を考えている。そこでは、前年度1年間の評価と、新年度の活動について協議していただきたいと考えている。

- (4) その他

特になし

## 5 意見交換

委員より 一般社団法人大野市観光協会の取組について

観光庁の補助を受けた、地域独自の観光資源を活用した地域の掲げる看板商品の創出事業「親子で歴史体験モニターツアー」について説明。

ツアー内容は盛りだくさんで、1日目の昼食時間が遅かったこともあり、子供がおなかをすかせていた。

子供が一番熱中して取り組んだのが、1日目の化石発掘体験であった。来年度も開催予定である。

委員より 大野地球科学研究会について

大野地球科学研究会では、自然遺産をどう生かすかを考えている。

子供にはバーチャル体験だけでなく、自然の中での体験を持ってほしい。

大野の自然遺産を生かし、保存につなげるには、全国から来てもらえるような企画が良い。実際にジオツアーを行い、大野の自然が全国的にも関心を持ってもらえると思感じた。

また、大野市は、全国で4か所から産出されるナポレオン石の産出地であるが、例えば、産出地が集まるイベントを企画したり、金森長近公の縁でつながる飛騨市古川城跡に祀られる蛤石（ナポレオン石に類似）を活用したり等、歴史と自然のコラボも考えられる。他にも活用できそうなものがいろいろあると思うので、ぜひ、素材を掘り起こしてほしい。

福井県教育庁生涯学習・文化財課 委員より

文化財保存活用地域計画の目的は、地域総がかりで文化財を地域振興に活用することにより、最終的に文化財の保護や継承につなげるというもの。

本来の目的をしっかりと認識して取り組んでいただきたい。

また、若いころ、大野市で発掘調査を行うなど、慣れ親しんだ土地である。ぜひ、本計画を大野市の発展につなげていただきたい。